

黒髪事業場の過半数代表者信任投票

10月1日に在職する熊大教職員は全員有権者です。

学長・理事・監事・非常勤講師・TA・RA・医員(パートタイム職員の大学院生)、派遣以外の方は全員有権者(有期雇用職員・再雇用職員を含む)です。

- ・投票期間:11月9日(水)～11月15日(火)
- ・投票時間:午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

徳永 達哉氏を支持してください。

(2022年度熊本大学教職員組合 執行委員長)



この度、黒髪事業場の「労働者代表」として過半数代表者選挙に立候補いたします大学院人文社会科学部(法)の徳永達哉です。

熊本大学教職員の労働条件は、労働基準法の下、「労使の合意」によって決められます。例えば、「時間外労働・休日労働に関する協定(36協定)」は「使用者」と「労働者の代表」で締結し、労働基準監督署長に届け出なければなりません。この代表とは、①労働者の過半数で組織する労働組合がある場合には、その労働組合が、②、①の労働組合がない場合には、労働者の過半数を代表する者(監督・管理の地位にない者)が務めます。本学には②が必要です。今回、黒髪事業場の皆さまの信任が得られましたら、皆さまの代表として、労働条件・労働環境の改善を求め、「使用者」に対し意見する所存です。

熊本大学は、現在、最高水準の総合大学を目指しています。この要請に応える教職員の実直な取り組みは、2022年4月の「THEインパクトランキング2022」の総合順位において国内8位、世界201-300位(1406大学中)と、昨年から大幅に順位を上げるといって成果を生み出すほどでした。そして、本学の目標は、教育研究に基づく社会貢献だけにとどまりません。「使用者」は大学を下支えしている教職員の労働条件・労働環境も当然に最高水準とすることを目指しているはずで、教職員の給与水準を示すラスパイレス指数(国家公務員との比較)に照らしますと、本学は「事務職員・技術職員の給与」が、85国立大学法人中なんと下位25%と、改善に向けて取り組むべき課題を多く残しています。

黒髪事業場の皆さまからの信任が得られましたら、他の事業場の過半数代表者と協力し、熊本大学で働く全ての方々の労働条件・労働環境の改善に最大限の努力を尽くす覚悟です。最後に、皆さまと共に働きやすい職場環境を目指すことを掲げて、立候補の所信表明といたします。皆さまには投票をお願いするとともに、信任を下さいますようお願い申し上げます。

過半数代表者は、事業場の過半数の支持を得る必要があります。そのため、組合は、使用者が法的義務を果たせるよう、有権者の皆様に投票の呼びかけを行なってきました。**みなさまの一票が重要な意味を持ちます。**黒髪地区の皆様の“ご支持”を重ねてお願いいたします。

	熊本大学教職員組合	
	No. 11 2022. 11. 9	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp http://union.kumamoto-u.ac.jp/